

# ①学校経営方針【大野小学校のミッション】

## すべての子どもたちが幸せを実感できる学校

自己効力感

自己肯定感

他者貢献

ミッションを実現するために必要な**大野小**の3つの柱

### 子どもに自信を持たせること

「できそう・やってみよう・できた」の経験や場の設定

### 子どもの居場所を作ること

自信を持ち、チャレンジしようとする態度を育てる。

### 「人のため」を大切にすること

進んで人のために行動することができるようにする。

### 教師の 行動指針

#### 1 安全・安心

- ① 人的環境で
- ② 物的環境で
- ③ 組織で対応

#### 2 礼儀正しさ

- ① 児童に
- ② 保護者に
- ③ 同僚に

#### 3 演技・演出

- ① やる気にさせるため
- ② ベストを尽くすため
- ③ 自信を持たせるため

#### 4 効率・能率

- ① 学習指導の場面で
- ② 生活指導の場面で
- ③ 仕事の場面で

# ②学校教育目標【子どもに身につけたい力】

## 自学・自律・共育

### ◆ 目指す子どもの姿 ◆

「自ら進んで学ぶ子」  
「自分を高める子」  
「仲間を大切にする子」

### ★現代社会の課題★

- グローバル化による国際人の育成
- AI（人工知能）も学習し進化する時代において、人間が学ぶことの本質的な意義の見直し
- 規範意識の低下

### 自学

#### ★進んで学ぶ子を育てる

- 自分から学ぶことができる
- 自分で課題や問題点を見つけることができる
- 自分で解決策を考え、実行することができる
- 失敗を恐れず、チャレンジすることができる

- ◆児童の「気づき」を大切にすることで主体的に考える児童を育てる。
- ◆児童の主体的な学びの場を意図的に与え、適切な評価を行う。
- ◆児童に「自己決定」と「自己有用感」を持てるようにする。
- ◆児童の主体性を尊重できれば、自分の意志や考えを持ち、失敗を恐れずチャレンジできる人材を育てることができる。

### 自律

#### ★自分を高める子を育てる

- 物事をより良くしようとする態度や考え方を育てる。
- 目標に向かって粘り強く努力することができる。

- ◆児童が自己決定できる場を設定し、適切な評価をして認め、自信を持たせる。
- ◆課題の明確と目標を設定し、自分の力で到達できるように支援する。
- 「我慢」「辛抱」は、「立派でありたい」という自尊心に支える行動で、「叱責」や「脅し」では長続きしない。

### 共育

#### ★認め合い共に成長できる子を育てる

- お互いに認めながら、共に成長することができる。
- 他者の良さを見つけ、それを認めていくことができる。
- 誰にでも平等に接することができる。
- 仲間同士で何かをやり遂げることができる。

- ◆教師自らが児童に「共感」し、「敬意」を抱く。
- 「共感」とは、「自分がその境遇だったら同じように行動するかもしれない」と感じる心である。
- 児童への「敬意」は、児童と同じ目線に立った時に生まれる。
- トラブル解決の唯一の糸口は「相手への敬意」であり、上手に「仲直り」させてあげられるのは高度な教育技術である。